# 内海式 TATAKI

特許出願中

## 埋設管施工用　パイプレーザーターゲット付転圧工具

### 『施工精度が格段に向上！』

パイプレーザーの使用により、パイプを埋設する位置、方向 及び勾配を決定する基準としての
丁張り・水糸作業が不要になり、作業効率が大幅に 向上しますが、パイプレーザーに
「内海式埋設管施工タタキ」を併用することで、これまで達成できなかった高精度の施工が容易に実現します。

### 『施工効率が格段に向上！』

敷設配管の径に併せた「内海式タタキ」を用いれば、転圧効率もあがり施工後配管のずれを防止します。
「内海式タタキ」は豊富な施工経験より最も施工性のよい重量、グリップ径を採用しています。

### 『タフな構造！』

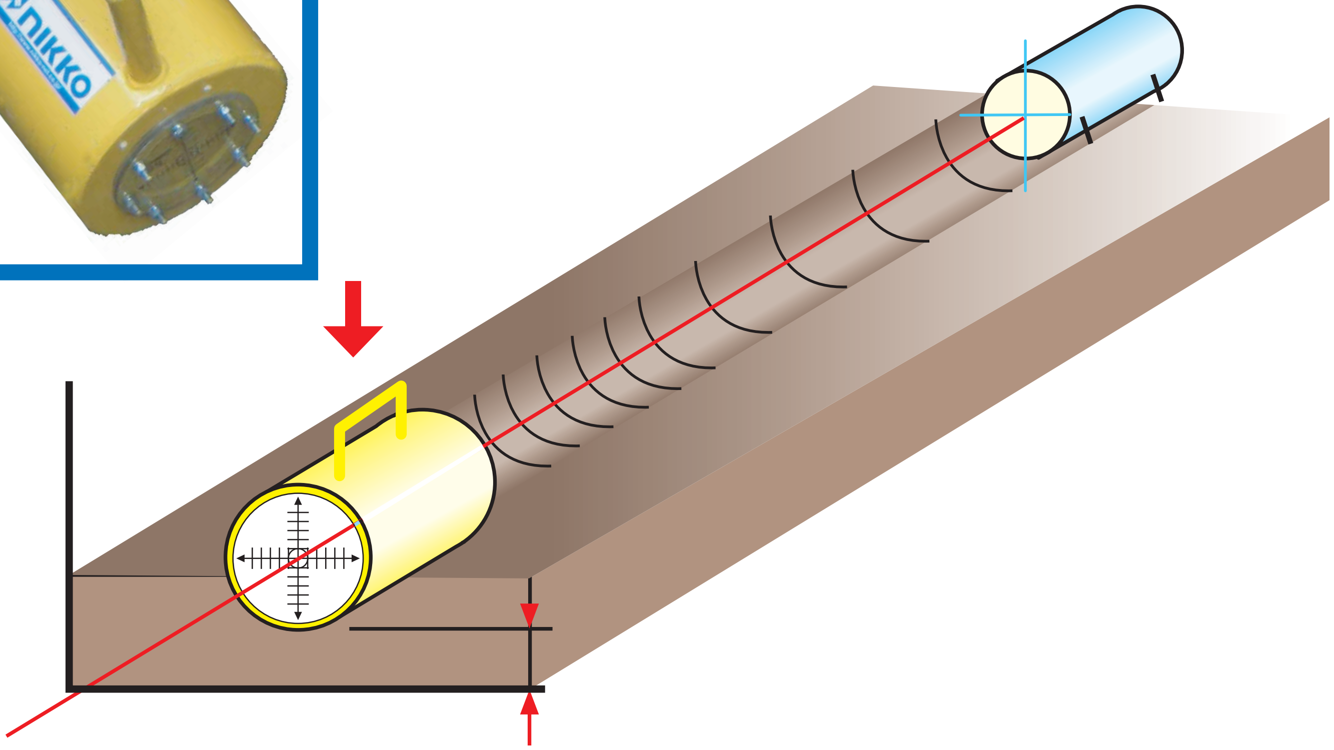
実績工事の中で何度も構造改善を重ねた結果がこのタフさを実現しました。
全体の重心位置が転圧効率の向上につながりました。
ケーシングには厚板鋼管を採用しています。
更に、耐久性を求め照準窓には厚さ「5m/m」のポリカーボネートを採用しています。

**内海式**
**埋設管施工タタキ**

使いやすい

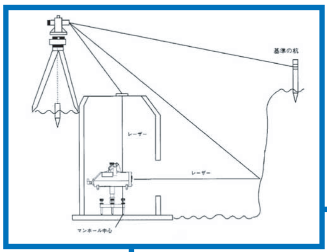
頑丈

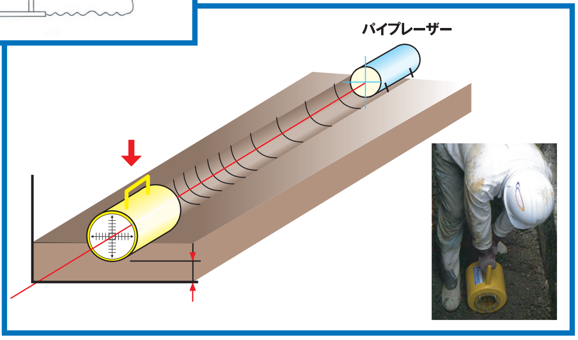
転圧に最適な重量



# 使用説明書

**1** 測量器にて配管施工の起点、終点を定め、
起点にパイプレーザーを設置し
配管経路を設定する。



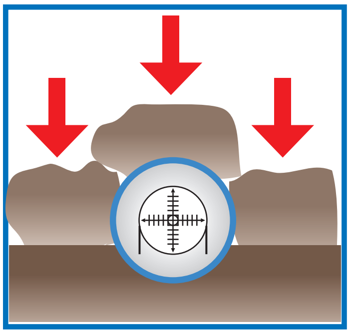



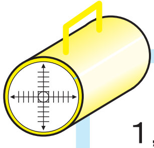

**2** レーザー光線をタタキ照準で確認しながら転圧を進める。

**3** 転圧は高さ30cm程度から自然落下させる程度を目安とする。
配管経路を足をまたぎ、両手でタタキのハンドルを握り
上下動させ転圧します。
（垂直、水平の確認には両面の照準を利用してください）
※転圧はハンドルが鉛直になるよう

**4** 一連の転圧作業が完了しましたら、
配管を敷設し仕上げレベルを確認して下さい。

**5** 配管ルートに問題なければ埋め戻し時に
配管ズレが生じないようにバランス良く
盛土仕上げして下さい。





## 使用上の注意

1，照準は強度の高いポリカーボネートを使用しておりますが、突起面等に強く当ると割れや表面傷の原因となりますのでご注意下さい。

2，ポリカ取り付けボルトが緩むと水分及び湿気が入り、タタキ中部が曇りの原因となりますので、適宜ボルトの増し締めして下さい。
※防水施工しておりますが、水中及び泥土の中でのご使用はなるべく控えて下さい。やむを得ず使用した際には速やかに布等で水分を拭き取り下さい。

3，重量物ですので、使用時の足元への落下、保管時の落下には十分注意下さい。

お問い合わせ

●開発製造元
日工株式会社 事業開発本部
〒674-8585兵庫県明石市大久保町江井島1031-1
TEL (078) 947-3091 FAX (078) 947-3097

NIKKO